

やく し どう 薬 師 堂

●所在地／下三谷近江 ●所有者／傳宗寺

この薬師堂は、^{しもみたにでんしゅうじ}下三谷傳宗寺境内近くに建っている。

^{ぜんしゅうよう からよう}禅宗様（唐様）の建物で^{まぐちおくゆき}間口奥行ともに^{げん}3間で、屋根は^{ほんかわらぶき}本瓦葺で方形の頂部に^{ほうしゆ}宝珠を載せている。^{だいこうりょう}二条の大虹梁で組んだ柱の間に「^{とぎょう}つめ組方式」の斗拱がある^{たるき}垂木は二重の^{おうぎだるき}扇垂木で、正面の扉は^{さんからど}棧唐戸を使用している。

禅宗様（唐様）を取り入れた^{こうち きわ}巧緻を極めた建築で、明治 27 年（1894）、下三谷の名大工^{かわなかなつきち}川中夏吉の建築である。

